



月刊

# 社協だより

平成29年  
2月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## 超高齢化時代に向けて

昨年十二月に、湯坂と町の民生委員が変わりました。金川さん、黒川さん長年ご苦勞様でした。新たに湯坂は「川本恭信」さんが、町は「宮崎壽子」さんが、民生委員になりました。宜しくお願ひいたします。

日本全国、高齢化が急速に進み、平成二十七年の後期高齢者の割合は、全体の人口の約十%を占め、十年後の三十七年には約十五%になると推計されています。その対策として特に高齢福祉の制度変更をしなければ財政が持たない環境にあります。今までは要支援一、二の方もデイサービスを受けておられました、その方々も出来るだけ「地域の福祉力」で見守ると言う方向に向かって

います。その為に地域福祉推進委員の再教育を急いだり、今まで一名であったものを複数化したりしようとの動きもあります。このような状況の中で、高齢者の見守りの在り方も変更がなされました。それが「狩留家あんしん

ネット」の動きです。また、広島市健康長寿課や広島市社協は「地域のサロン」や「趣味のグループ」の活動を積極的に応援しようとしています。社協であれ、寿楽会であれ、単独のグループの活動であれ、見守りや外出の機会・交流の機会が期待されるグループの活動を応援し、補助金を出す仕組みを広げています。

## バックヤ物入れづくり 狩留家クラフト教室開催中

現在狩留家では大変ザックリの試算ですが七十五歳以上の方の約四十%が何らかのグループで活躍なさっております。現在十五のサロンやグループが狩留家で活躍しています。もし、何も聞いていないというグループがありましたらご連絡ください。

町おこしと空家対策で西地区の石田邸ログハウスを活用できないかと考えたのが「狩留家でカフェを開きましょう」でした。協力者を募り、話し合いを進めた結果、飲食関係は保健所などの制約もあり、手作り教室をしようという事になり、「狩留家クラフト教室」が立ち上がりました。ログハウスでしていたのが、集会所になり、水が使えなくなつて、今は天保家の

離れ教室で毎月1回金曜日に開いています。昔、竹やつる等で編んでいたものをクラフト（紙のひも）で編み、バッグや物入れ等を作ります。日本古来の編み方がいろいろあり、昔の人々の技術に感心させられます。「この編み方わからん」「それいいね、今度それ作ろう」「四苦八苦しなから出来上がったものは素晴らしい感激です。「居間に置いたら部屋が明るくなつ

### 理事会報告

平成二十九年二月十四日 議題

- 一、安心ネットについて
- 二、春のプレーパークin狩小川 (三月五日)
- 三、文化講演会について (三月十一日)
- 四、各部、各サロンの二十八年度の反省について

### 「夢かるが」へいらっしやい!!

皆さん、どうぞ参加して下さい。  
(連絡先：天保090-1185-430)

「夢かるが」で月一回第四金曜日に開かれる語るう会は二十五人前後が集うサロンです。狩留家祝酒に始まり、ハーモニカンあおぎりさんの演奏に合わせて「夢かるがの歌」などたくさん歌を歌い、ゲームや紙芝居などをして楽しみます。十一月には、劇団「ぼんぼこくらぶ」のお二人による「金色夜叉」「いじわるばあさんの嫁いびり」の寸劇に、大いに笑わせていただきました。またこのたび、安佐

北社協の補助金でカラオケセットを設置しました。歌大好き皆さん、さっそく懐メロを歌って賑やかに盛り上がりましょう。毎回心のこもったおいしい味噌汁をいただき、おしゃべりに花を咲かせるひと時を共有できる幸せに感謝です。

一月資源ごみ売上 一万九千円

